

令和5年度獨協医科大学教育セミナーシンポジウム
令和6年3月13日(水)

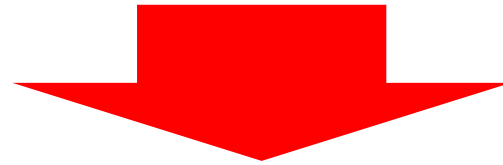
看護学教育のカリキュラムと

これからの看護学部教育

看護学部教務部長 小西敏子

看護学部・看護学研究科の教育の方向性

学修と省察（リフレクション）を繰り返し、
自己実現（自分らしい生き方）に向かう学生（看護職者）を養成する。



新カリキュラム制定の狙い

“学生自身が自らのカリキュラム（将来）をデザインする”

教育理念

自己教育力を基盤とし、看護実践力を高めながら
看護専門職としてのプロフェッショナリズムを醸成し続けられる
自律した看護専門職者を養成する。

ディプロマ・ポリシー（DP）

- ① 探究心を持ち、自己を教育し続けることができる。
- ② 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる。
- ③ 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる。
- ④ プロフェッショナリズムを身につけ、倫理的行動をとることができる。
- ⑤ グローバルな視野で、多様性を尊重することができる。

カリキュラム・ポリシー（編成方針）抜粋

選択制課程として、

保健師教育課程、助産師教育課程、養護教諭一種教育課程 を設置

入学定員 145名 3年次編入学定員 10名

－2年後期（2,3月）選考－

保健師
(100名以内)

助産師
(10名以内)

養護教諭
(45名以内)

選択なし

取得可能
資格

看護師
保健師

看護師
助産師

看護師
養護教諭一種

看護師

カリキュラム・ポリシー（実施方針）抜粋

- ・授業内で**自己を客観的に振り返る時間**の提供
- ・アクティブラーニングやICTを活用した授業の展開
- ・少人数グループ演習・実習により学生間での学びあい
- ・**多職種と連携した実習や医学部との合同授業**
- ・高度医療、**地域に密着した保健医療福祉施設**での実習
- ・**段階的に自らのキャリアをデザインする機会**の提供
- ・学修成果は多様な方法で総合的に評価

1. 卒業単位の変更（科目の圧縮/統合）

	既存カリキュラム	新カリキュラム			
課程	看護師・保健師	看護師	保健師	助産師	養護教諭(一)
卒業単位	128単位	124単位	130単位	142単位	141単位

★専門基盤科目(健康)：必修33単位から23単位へ減

- ・「人体の構造・機能」8単位 ➡ 6単位
- ・「病態治療学」 6単位 ➡ 4単位
- ・「薬理学」「微生物学」「病理学」 各2単位 ➡ 1単位

★講義・演習科目の時間数(コマ数)を減

- ・「フィジカルアセスメント」2単位23コマ ➡ 2単位15コマ
- ・「〇〇看護支援論/援助論」1単位15コマ、2単位23コマ ➡ 「〇〇看護方法論」 2単位15コマ

2. キャリア支援科目の設置

★入学時から卒業まで継続して、学生のキャリア形成を支援

「キャリアデザイン」(1年通年)

朝食会、解剖見学実習、解剖慰霊祭

自己を内省し、実現したい将来像を描き、必要となる素養や能力は何か考察

「キャリアデザイン演習」(2年通年)

宣誓式

キャリアデザインを具現化させる演習計画を立て実践（インターンシップ）

***2年次終了までに選択する教育課程を決定する**

「キャリア発達論」(4年後期)

自己のキャリアを発達させていくための方略を学修

3. 基盤科目の整備

★22単位(必修12単位,選択10単位)

➔ 21単位(必修9単位,選択12単位以上)

- ・ 新設科目の造設：「壬生の歴史と文化」「宗教学」「天文と気象」
「ボランティア論」「情報技術の進歩と医療」
「アカデミック英語」
- ・ 第2言語の科目増：中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語
- ・ 上級学年に配置：3,4年次に各領域1単位（合計3単位） 必須

*選択制課程の学生は除く

4. 専門基盤科目(看護)と実習時期の変更

★2年後期に地域で生活する人々に対する実習を6週間(6単位)実施

講義科目

－1年後期－
成人看護学
高齢者看護学

－2年前期－
母性看護学
小児看護学
在宅看護学
公衆衛生看護学

－2年後期－
急性期看護学
慢性期看護学
精神看護学

実習科目

－1年後期－
看護基盤
実習

－2年後期－
日常生活援助実習
高齢者実習
小児保健実習
多職種連携実習

－3年後期－
急性期/慢性期実習
母性実習
小児医療実習
在宅実習
精神実習
看護統合
実習

－4年前期－
課題探究
実習

5. 学生の選択の自由度の確保(選択制課程,看護の追求)

★3,4年次に看護の専門性を深める選択科目、選択課程科目を集中的に配置

－2年後期－
急性期看護学
慢性期看護学
精神看護学

－3年前期－
補完代替療法
学校保健と産業保健
感染看護学
イントロダクションケア論
助産学概論
養護概説
選択課程科目

－3年後期－
看護理論
クリティカルケア論
臨床推論
選択課程科目

－4年後期－
看護教育
遺伝看護学
看護と政策

－2年後期－
日常生活援助実習
高齢者実習
小児保健実習
多職種連携実習

－3年後期－
急性期/慢性期
小児実習,母性実習
在宅実習,精神実習
看護統合実習

－4年前期－
課題探究実習
選択課程
実習科目

まとめ

学修と省察（リフレクション）を繰り返し、
自己実現（自分らしい生き方）に向かう学生（看護職者）を養成する。



“学生自身が自らのカリキュラム（将来）をデザインする”

1. 卒業単位の変更（科目の圧縮/統合）
2. キャリア支援科目の設置
3. 基盤科目の整備
4. 専門基盤科目(看護)と実習時期の変更
5. 学生の選択の自由度の確保(選択制課程、看護の追求)